

製品名: ERK 8 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab10598**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | IHC, ICC/IF, ELISA |
| 反応性 | ヒト、ラット、マウス |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:200-1:1000, ELISA 1:5000-1:10000

分子量

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | MAPK15 |
| 別名 | MAPK15; ERK7; ERK8; Mitogen-activated protein kinase 15; MAP kinase 15; MAPK 15; Extracellular signal-regulated kinase 7; ERK-7; Extracellular signal-regulated kinase 8; ERK-8 |
| 遺伝子 ID | 225689.0 |
| SwissProt ID | Q8TD08 |
| 免疫原 | 抗血清はヒト MAPK15 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 361-410 |

背景

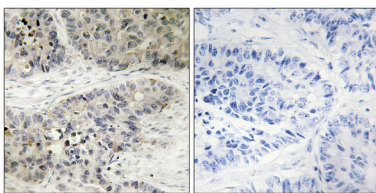
触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。ドメイン: N 末端領域 (1-20) は、ユビキチン化とプロテオソームに

よるさらなる分解に必要な最小限の領域です。、ドメイン: TXY モチーフには、MAP キナーゼを活性化するスレオニンおよびチロシン残基が含まれています。、酵素制御: スレオニンおよびチロシンのリン酸化によって活性化されます。DUSP1 などの二重特異性ホスファターゼによって阻害されます。、機能: in vitro で、MBP をリン酸化します。、PTM: 酵素を活性化する Thr-175 および Tyr-177 が二重にリン酸化されます。in vitro では、スレオニンおよびチロシン残基が自己リン酸化されます。、PTM: ユビキチン化されます。ユビキチン化により、キナーゼ活性の厳密な制御と迅速なターンオーバーが可能になります。SCF E3 リガーゼによってユビキチン化される可能性があります。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CMGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。MAP キナーゼサブファミリー。、類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。、サブユニット: CSK/c-Src、ABL1、RET、および TGFβ111 と相互作用します。、組織特異性: 広く発現しており、肺と腎臓で最大になります。、触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。、ドメイン: N 末端領域 (1-20) は、ユビキチン化とプロテオソームによるさらなる分解に必要な最小限の領域です。、ドメイン: TXY モチーフには、リン酸化によって MAP キナーゼが活性化されるスレオニンとチロシン残基が含まれています。、酵素調節: スレオニンとチロシンのリン酸化によって活性化されます。DUSP1 などの二重特異性ホスファターゼによって阻害されます。、機能: in vitro で MBP をリン酸化します。、PTM: Thr-175 と Tyr-177 が二重にリン酸化され、酵素を活性化します。in vitro ではスレオニンとチロシン残基が自己リン酸化されます。、PTM: ユビキチン化されます。ユビキチン化により、キナーゼ活性の厳密な制御と迅速なターンオーバーが可能になると考えられます。SCF E3 リガーゼによってユビキチン化される可能性があります。、類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CMGC Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。MAP キナーゼサブファミリー。、類似性: 1 つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。、サブユニット: CSK/c-Src、ABL1、RET、TGFβ111 と相互作用します。、組織特異性: 広く発現しており、肺と腎臓で最大発現を示します。、

研究分野

Jak-STAT シグナル伝達経路

画像データ



MAPK15 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像。